

きずな

思いやる 心で築く 明るい地域

広報部

副部長 大岩 芳子

家推協広報紙「きずな」、みなさまには、楽しんで読んでいただいています。どうか、私達広報部は部員全員でいろいろなアイデアを出し、豊浜地区の行事や出来事など調べ、どのページに何を載せるか検討し、見栄えのする写真はとれていくか頭を悩ませながら、ときには予定していたページが途中で中止になったり、ハプニングもいろいろありますが、それでも取材に行ったり、原稿依頼に行ったりしてそこでまた新しい出会いが出来たような気がします。これからも「きずな」を通じてもっと豊浜のことを知っていただき、子供からお年寄りの方まで家推協活動に参加できるように努力していきます。これからの協力も御協力よろしくお願いします。



ふれあい活動部

副部長 山下 定治



「地域住民のふれあい、並びに三世代のふれあい活動を展開する」これがふれあい活動部の方針であります。「親子ふれあいランドゴルフ大会」「夏休み一斉ラジオ体操」「三世代ふれあい歩け歩け大会」と色々開催しております。活動部では、二〇〇二年の学校週五日制を視野に置き、三世代が自然の中で気持ちのよい汗をかき、心身共にリフレッシュし、明るさを失わない家庭作りが出来る事を、応援して行きたいと考えております。地域住民のふれあいの場に、参加してみてもどうでしょうか。何かが見つかります。

教育環境部

副部長 吉村 仁志



教育環境部では今年も街頭あいさつ運動を実施しました。挨拶の挨拶とは心を開くという意味があることを聞き、ほんとうにそのとおりでだと思えます。街頭で通学する子達に「おはよう」とあいさつすると、「おはようございます」と返事が返ってきます。はじめて会った子達なのになぜか親近感がわいてきます。大きな声で言える子ばかりではありません。心の中ではきつと大きな声でありさつしていると思います。これからは教育環境部の活動に皆さんの御協力をよろしくお願いします。

編集後記

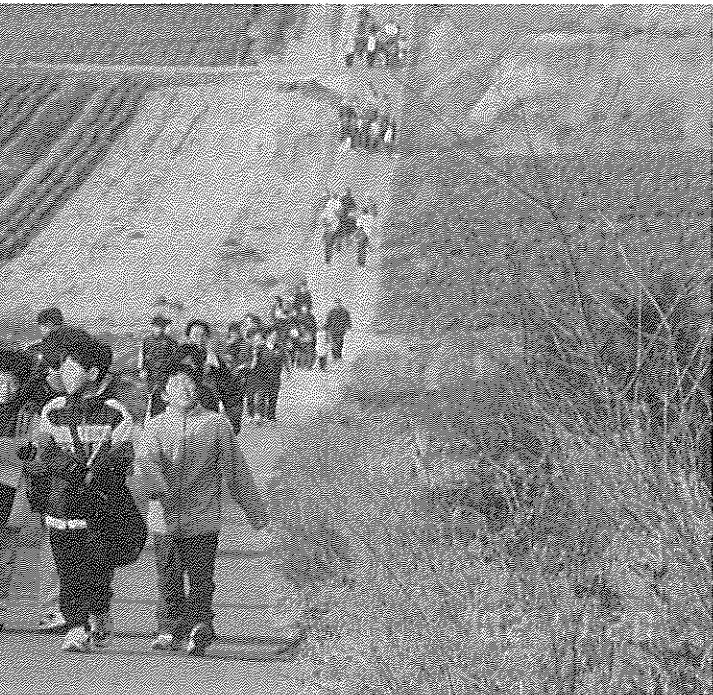
暗い世相の中、アメリカ大リーグでのイチローの活躍と、敬宮愛子様ご誕生のニュースは、なにやらほっとするニュースです。家推協の活動も、家族愛や思いやりの心を大切にしていくたいと思えます。

この広報紙も、「読む」から「見る」広報紙として、親しみやすいものに内容を工夫しました。

地域の皆様には、御協力を頂き、ありがとうございます。今後も、御指導、御協力を、よろしくお願い致します。

ワーツ！ キャベツ畑がすごい

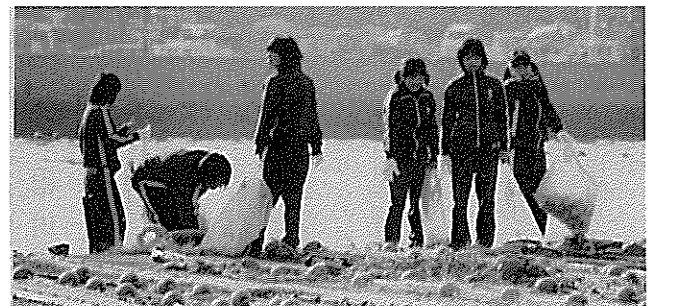
三世代ふれあい歩け歩け大会



ベビーカーの僕も スタンプ押せたかな？

三世代ふれあい歩け歩け大会

クリーン作戦



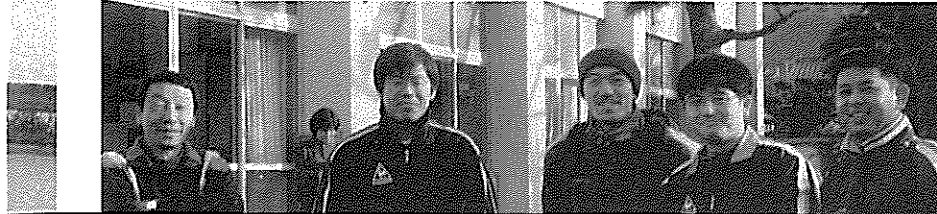


わが家

東駐在 山本 恭孝

私の家族は、妻由美子（年齢不詳）長女祐子十八歳、長男秀俊十六歳、次女智美十五歳の五人家族で、六畳三間の部屋で息苦しい生活をしています。
私は、昭和六十二年三月二六日に豊浜東駐在所に赴任して、駐在勤務十五年となり、磯の香りと潮風と緑の山に囲まれた自然の中で、人情味あふれる地域の皆様に育てられた事を親子共々心より感謝しています。
追伸
わが家の一番広い場所に、野良犬のチェロがいます。

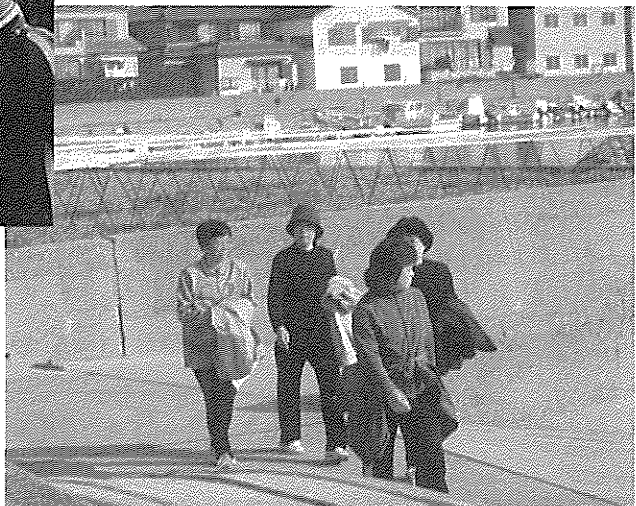
私の好きな町 豊浜
鳥居 松本 秀子
私は交通指導員をしています。立哨をしていて感じることは、挨拶ができない子供が多くなってきたことです。
そして、子供だけではなく、大人の交通マナーも低下しているように思います。
子供は大人の後ろ姿を見て育ちます。大人が率先して挨拶し交通ルールを守れば、よりよい町が創り出せると思います。
この活気ある豊浜に元気な声が響きわたり、事故のない住みやすい町をみんなの手で創りあげることが私の願いです。



初めての歩け歩け大会

豊丘小五年 滝本 紗菜

今日は、私にとって初めての歩け歩け大会でした。だから、どんな服装でいったらいいのか迷いました。豊浜小に着いた時あまり人が来ていませんでしたが、だんだん人が集まってきました。開会式が始まりました。そしていよいよ出発です。コースは登り坂と下り坂のくり返しでした。途中で友達と会って、いっしょに歩くことになりました。友達は、すっごく走るのであつという間にゴールに着きました。ゴールの豊浜小で豚汁を飲みました。何かあつという間の歩け歩け大会でした。次も、ぜったいに参加したいと思います。



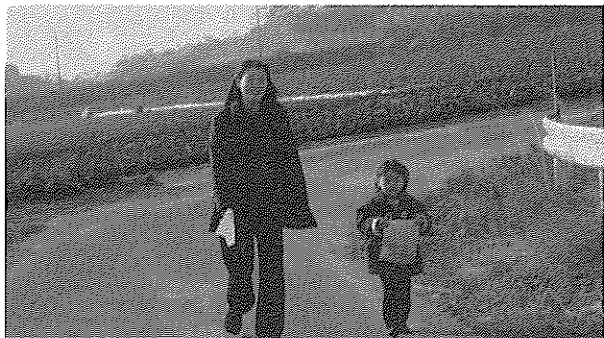
1月20日(日)、三世代ふれあい歩け歩け大会が開催され、315名が参加しました。
豊浜小学校をスタートし、豊浜中学校南坂 → パイロット → 小佐 → 豊浜漁港 → 豊浜小学校の約7kmのコースと約3kmのコースを、参加者のみなさんは自然を満喫し、みんなとふれあいながら歩きました。

歩け大会

歩け歩け大会

豊中一年 磯部 英宏

1月20日の日曜日に、歩け歩け大会に野球部で、出場しました。達矢君と展寛君と裕介君のチームで、7キロコースを歩くことになりました。そして、9時にスタートしました。第1チェックポイントまで歩いてそれから先生に走れと言われたので走りました。第2チェックポイントからは、伊勢湾が見えたりしてきれいでした。前走者を抜かして、(競争の大会ではないけれど)小学校に着いて1位でゴールをむかえました。
閉会式をやったから、参加賞をもらって帰りました。楽しかったです。

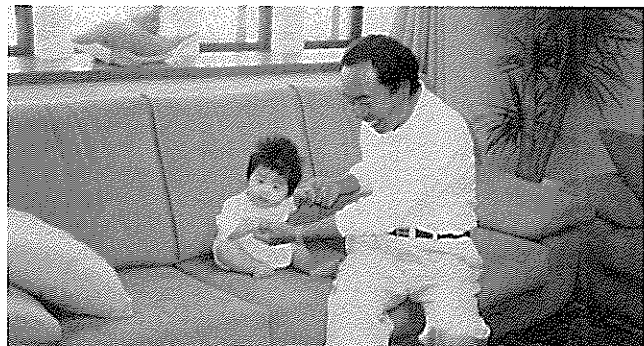


我が町、我が家

孫

豊丘 斎藤 安子

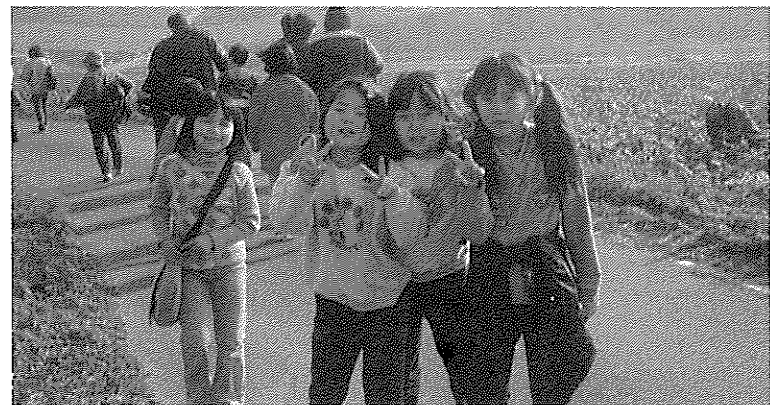
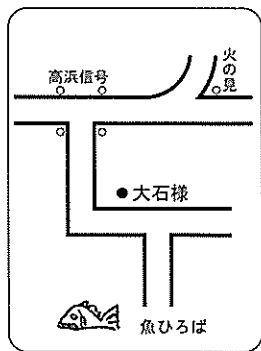
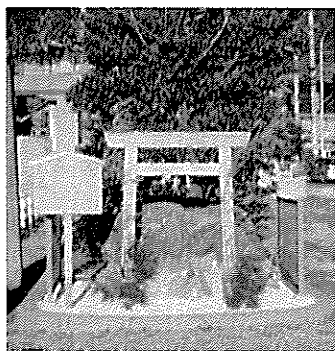
♪何んで、こんなにかわいいのかよとは、よく言ったもので、本当にかわいいです。生後半年になる我が家の孫は、家の中心です。泣いても笑っても皆を動かします。自分達の子育て時代は無我夢中で、よく分からないうちに育っていたという感じでした。孫は、太陽の様な明るさで気の落ち込んだ時も、この子のおかげで、ふっと消え去る不思議な力を持っています。少子化核家族の時代ですが、四世代の家族の楽しみもあるかと思えます。

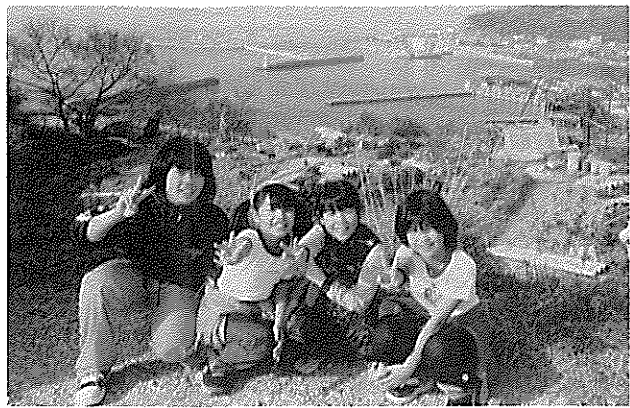


我が町、我が区の大石様

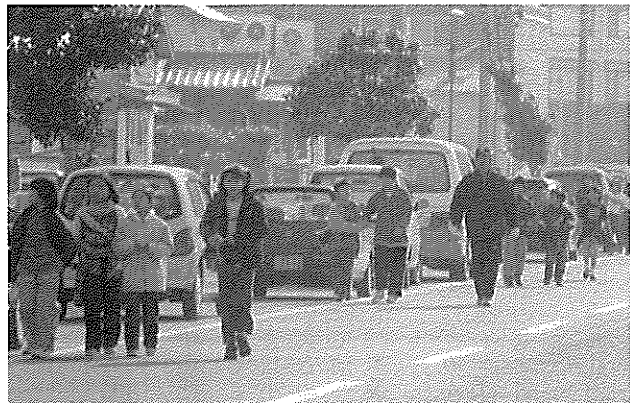
新居 相川 靖朗

昔、須佐の海中に一個の大きな石があり真夜中この石にボンカリ灯が点る事があり漁師達は「神様が石の上でお休みになっている」と手を合わせ拝んでいた。この神様は土御前の神様で村中の安全を守る為真夜中にぐると村を回りこの石で一休みの時、自然と灯が点るといふ由来がありました。最近この話しを知っていた有志の人達の骨折りで移動させ、鳥居、シメ縄をし立派に安置されています。区の守り神として町の歴史の一環として青少年に語り継がれる事が大事です。



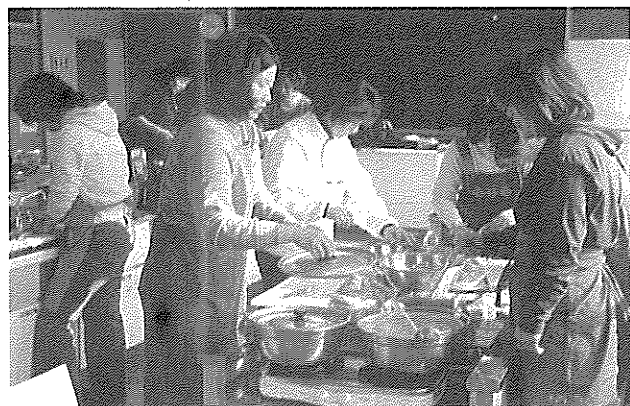


今年も参加ふれあい歩け歩け大会
 中洲 岩本良治
 暦では、きょうは「大寒」。一年中で寒さのもっとも厳しい時季だ。でも、外は春を思わせるほどいい天気だ。
 この大会に参加するようになって、何年になるだろう。今年、下の息子と息子の友達の子供たち5人で参加。
 小学校を出発、キャベツ畑、ダイコン畑を抜け、子供たちと学校の事、家族の事を話しているうちに、伊勢湾が広がり、豊浜の街並が見えた。海岸線を歩き、磯辺にスナメリらしき物を見つけ興味津々。ゴールだ。少々の疲労感と大きな達成感を感じた日だった。

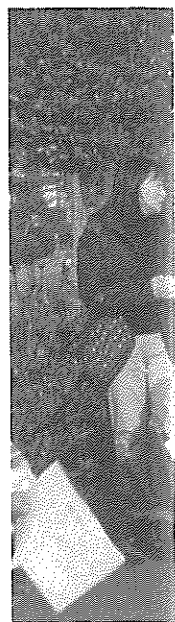
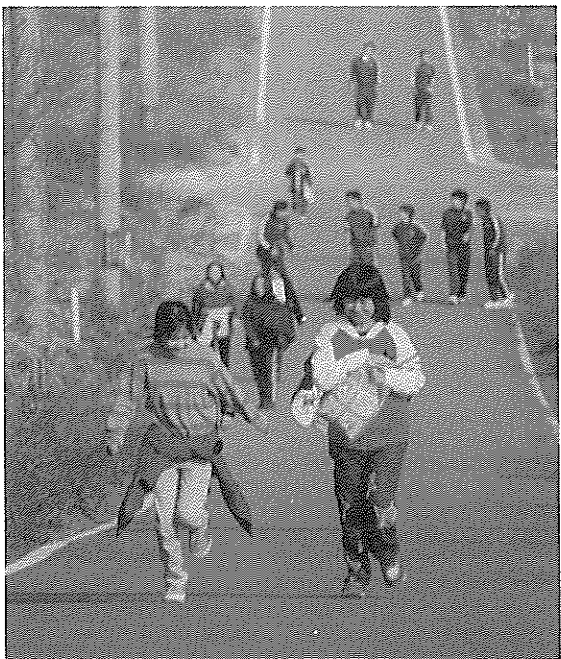


三世代ふれあい歩け歩

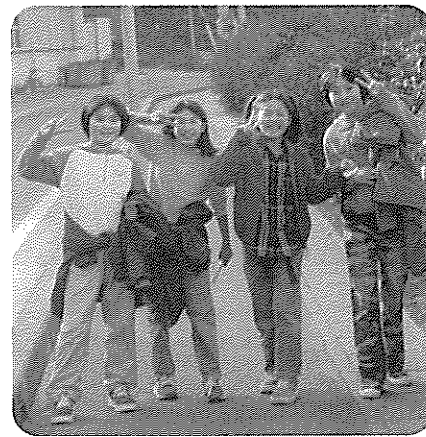
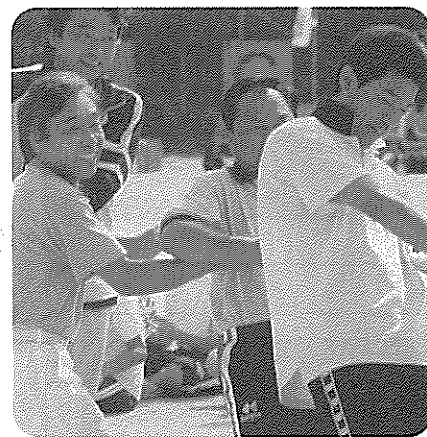
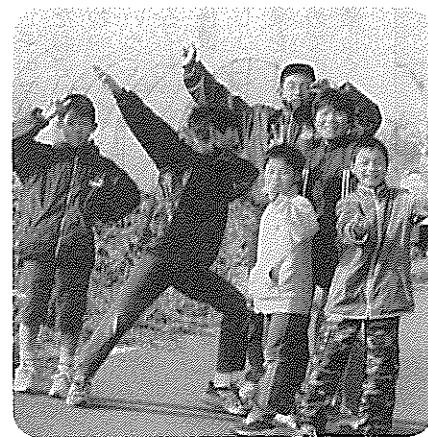
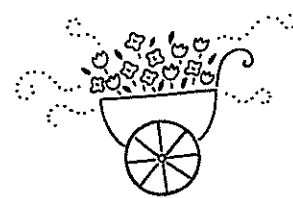
思い出作り
 初神 稲葉小浪
 この大会に参加しようとした切っ掛けは、今日私の六〇回目の誕生日、何か思い出作りにと、思い、出席させて頂きました。高地より我町を見下ろせば、こんな素晴らしい所があったのかと感激する場所も多々あり、お友達とコミュニケーションを持ちながら、とても楽しい時間をすごす事が出来大変嬉しく思いました。歩いていて少し残念に思った事は、道路の隅には、沢山のゴミが捨てられていて、これから新芽が出てくるのに、草花がかわいそうにと感じられました。役員の方々本当にご苦労様でした。



豊浜小学校PTAのみなさん
 豚汁とってもおいしかったです。おつかれさまでした。



笑顔がいいね!





防火パレード 中洲保育所

ふれあい広場



祖父母との集い 豊浦保育所

みんな笑顔

豊浜小6年 山本 光洋

十一月十三日、豊浜小秋祭りが開かれました。最初に全校でやった風せんゲームでは、たてわりなかよしチームみんなが笑顔でできました。ゲームが終わると、各組ごとに出店を始めました。その組が思考をこらして考えたお店が大せいの人たちでにぎわっていました。「お店によっていろいろよ。」と声を張り上げている子もいました。
午後は、豊丘小のみなさんといっしょに「レディース・プラス」の音楽をききました。
初めての秋祭りでしたが、みんな楽しくやれました。



初舞台にドキドキ

豊浜中2年 相川 裕香

私達、豊中吹奏楽部は10月28日に初の定期演奏会を開きました。私達にとって初めての事だったので不安とあせりで一杯でした。しかし本番になると私は「絶対に成功させるぞ、頑張ろう」と、決意して舞台上に立ちました。第一部ではやっぱり緊張の色が隠せませんでした。第二部になると緊張もほぐれてのびのびと自分の力を出しきる事ができました。そして第一回定期演奏会も、幕を閉じました。来年は今年よりさらに楽しい演奏会を開きたいです。



残念だった町民体育祭

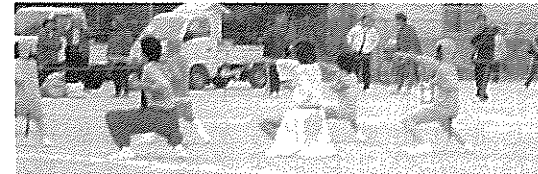
豊浜中2年 鈴木 伸也

僕は、順送球に出場することになった。得点競技なので、夜、豊丘小で練習があった。その時、僕は、新しい大きめの靴をはいていたので、ボールをもらって前へ走る時、靴が片方脱げてしまった。でも、本番のつもりで、そのまま走り続けた。
達也君のおじさんは、みんなに次々アドバイスをした。どんだんタイムはよくなった。それに、アンカーは、あの基之君だ。
「二位はもらった。」と思った。
ところが、雨……。残念だ。幻の一位となってしまった。

東部青年団

相川 大輔

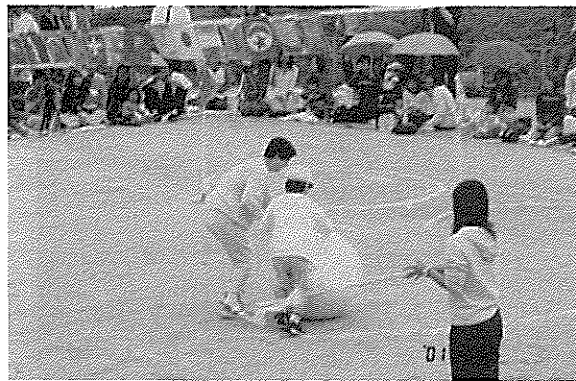
僕にとって去年の体育祭は今までの体育祭よりも楽しかったり悔しさもあつたりして一番の思い出に残る体育祭になったと思う。僕は東部として体育祭に出るのが最後のなので、絶対に優勝しようと思いましたが、雨が降って中止という結果になった事がとても残念だった。過去四十回以上やってくるなかでも、中止したのは初めての事だった。でも、みんながやった事はとても楽しかったです。



運動会

須佐の会会長 森 理加子

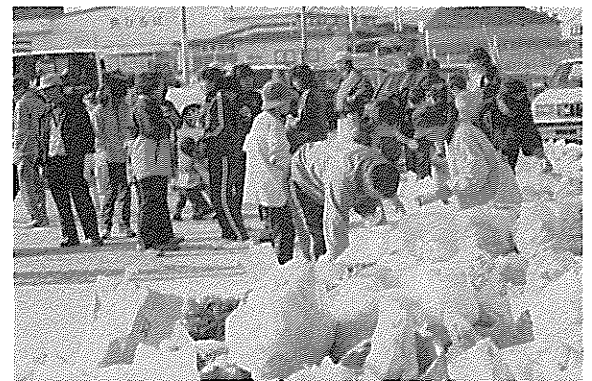
今年の運動会は、途中で雨が降ってきましたが、プログラム通りすべての競技を、無事終えることができました。今年も祖父母と一緒に、大玉転がしをしました。可愛い孫の手を、しっかり握りしめ、力を合わせて大きな玉を転がし、子供達と祖父母が仲良く触れ合い、元気な笑顔が、印象的でした。子供達には、祖父母の温かい手の温もりを、いつまでも忘れないで思いやりを持って育ってほしいと願っています。地域の皆様最後まで応援して下さい、とても楽しい運動会でした。



クリーン作戦

初神区長 牛田 金太郎

毎年恒例となりました、クリーン作戦が十一月十一日、豊浜地区で一斉に行なわれました。家庭推進協議会の呼びかけで、小中学校の子供さんも参加し、地区ぐるみの行事となりました。空ビン拾いを行いました。このような行事を通して、日頃家庭では出来ない親子の会話が出る、機会ではないかと思えます。「おじさん、こんなに拾った。」と親子連れで持って来る姿は、何とも、ほほ笑ましい気がします。奉仕作業を通してマナーを守ってきれいな町づくりを、めざして頂きたいです。



戦争

ガールスカウト 豊浜中3年 澤田 千鶴

ガールスカウトの活動で広島原爆ドームを見学した。原爆ドームは教科書などで取りあげられていて、戦争を知らない私達でも、どんなモノかは知っている。私は教科書を見て一度は行ってみたいと思っていたので、とても楽しみだった。しかし、いざドームを目の前にすると、何とも言えない悲しい気持ちになった。いろいろ見て回り、資料館で被爆者の話を聞いた。原爆投下直後の様子など、50年以上も前の事なのにすごく鮮明に覚えているようで、詳しく話してくれた。やはり忘れられない出来事なんだと思った。平和が一番だが、いつかはこういう話が忘れられてしまうのも悲しい。

